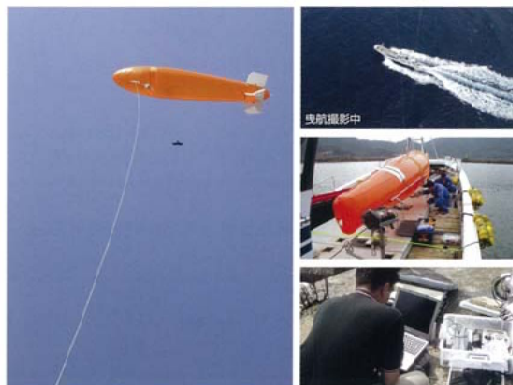
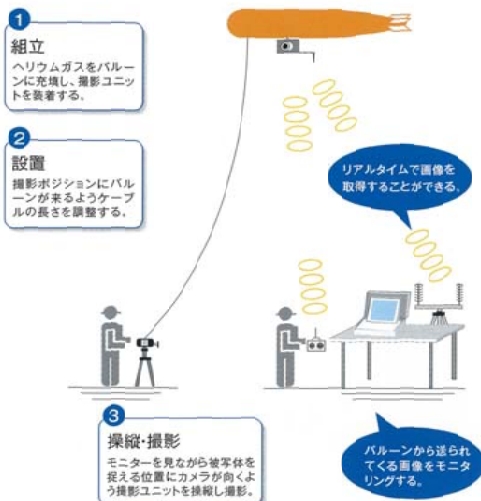


鳥の目線で
高画質の写真を、手軽に入手!



撮影システム



お問い合わせ先

費用・用途などお気軽にお問い合わせ下さい。



日本地研株式会社

〒812-0894 福岡市博多区諸岡5丁目25番25号
TEL.(092)571-2766 FAX.(092)571-2813
担当者: 田口 E-mail: taguchi@chicken.co.jp

バルーン



長さ: 約5.8m
最大直径: 約0.8m
容量: 約2.0m³
(特殊フィルム使用/フィン装備)
※特許取得済み
(特許第4486374号)

仕様

「スカイキャッチャー」 SKY CATCHER

強風下でも安定し、低コストで運用可能な超エコタイプのバルーンにカメラ装置を搭載した画期的な空撮システム「スカイキャッチャー」。空中からのカメラアングルは遠隔操作により自在にコントロールできます。リアルタイムでとらえた画像はモニターで確認しながらズーム・シャッターを操作できるので、思い通りの高画質空撮画像を入手することができます。

寸法 約5.8m×φ0.8m

搭載カメラ 各メーカーデジタルカメラ
(搭載カメラは選択可)

送受信方法 画像送受信モジュール

モニター 液晶TV

撮影装置稼働範囲
水平方向 360度(全回転)
垂直方向 0~90度
シャッター
ズーム
スイッチON/OFF
<5CH>

画像受信 リアルタイム

備考
ハイビジョンデジタルビデオカメラ搭載可能
※リアルタイムに画像確認、収録、ズーム撮影可

無動力リアルタイム空中撮影システム

スカイキャッチャー®

S K Y C A T C H E R

【国土交通省】新技術情報提供システム(NETIS)登録
NETIS登録番号 GS-060016

安心・安全・リースナブル
新しい視点の空撮体験。



スカイキャッチャー

「スカイキャッチャー」は
長菱設計株式会社の
登録商標です。

■設計/開発 (工業権所有者)
medis 長菱設計株式会社
長崎市館の浦町1-1 三菱重工業(株)
長崎造船所構内5ビル2階 〒850-8610
TEL.(095)828-5573 FAX.(095)864-0802

長崎県・長崎市福島(軍港島)

リアルタイムな画像をお客様とその場で確認。 低リスク、低コストな「空撮」システムです。

スカイキャッチャー

特許取得済みのバルーンと
実用新案登録済みの
空撮システムだから
(特許第4486374号)

コストが
少ないから
安価

自分の目で
確認できるから
安心

騒音ゼロ
低空でも
安全

「大規模工事の進捗状況や、記念として残しておきたいイベントなどをダイナミックに空から写真を撮りたい」と思っても、現実には、セスナやヘリコプターのチャーター費やカメラマンの撮影費など予算の問題があります。さらに市街地ともなると様々な規制や騒音による近隣からの苦情の心配が出てきます。

そんな問題をすべて解決する画期的な空撮システムが「SKY CATCHER(スカイキャッチャー)」です。

特殊形状のバルーンが強風下でも効率的に風を受け流し機体を安定させます。機体下部の撮影装置をラジコン送受信機で自由に操作して、被写体を捉えて撮影し、地上に送信します。地上のモニターでリアルタイムに確認しながら様々なアングルを何度でも撮影でき、幾つもの画像の中からベストショットを選択できるシステムです。操作は風上げの要領でケーブル1本で行い、エンジンなどの動力をまったく必要としません。だからエンジンの騒音ゼロ。安全なヘリウムガスだけを使用するので事故の心配もありません。「安全」「安心」な空撮写真をお気軽にご利用になれます。

G.I.S(地理情報システム)テーク

空撮画像を基に画像解析(3D化など)による
各種プレゼンテーション資料用画像の作成



遺跡、文化財の調査・状況・記録

各種設計協議資料

◎ 土木、建築、区画造成、発電所などの各種プラント

立入困難な場所の調査

◎ 急傾斜地、崩壊危険区域

災害調査

◎ 地滑り、崖崩れ、河川氾濫、流土などの被害状況

フォトモンタージュ

◎ 景観、完成予想

スカイキャッチャーの特徴

バルーン形状と特殊フィンの効果により、
強風下での空中撮影が可能。

船や車での走行撮影が可能。

セスナやヘリコプターが侵入出来ない
高度250m以下での低空撮影に最適。

撮影可能範囲は左右360度・上下90度
ズームも可能。

規制の厳しい市街地や
立入困難な場所の撮影に有利。

ラジコンヘリに比べて騒音はゼロ、
安全性が高く、環境に優しい。

滞空時間が長く、長時間の撮影が可能。

手元のモニターで確認しながら撮影が可能。

高画質写真をリアルタイムに取得可能。

撮影素材をもとにパノラマ画像や
3次元画像解析なども可能。



建設工事写真

◎ 着工前後、進捗状況、完成写真